

おおいた林業アカデミー

令和8年度 研修カリキュラム シラバス



公益財団法人森林ネットおおいた

目次

- I おおいた林業アカデミーの概要
- II 研修科目と研修時間
- III 評価方法と評価基準
- IV 年間研修スケジュール
- V シラバス

I おおいた林業アカデミーの概要

① 研修方針

おおいた林業アカデミーが目指す人材育成

1) 基礎的な技術の習得

安全で確実な林業作業を実践する基礎的な技術、知識を身につけた人材を育成する。

2) 創造力豊かな人材の育成

現場条件や低コスト・機械化作業に対応した効率的な作業仕組みを、考え実践できる創造力を身につける。

3) 自主性と協調性の向上

将来の地域林業の中核的担い手として活躍できる資質を養い、リーダーとしての指導力を身につける。

大分県の林業分野への就業にあたり、森林・林業・木材に関する体系的な知識や技術を習得するとともに、就業に必要な資格を取得し、即戦力となる担い手を育成します。

② 研修期間

令和8年4月13日(月)～令和9年3月12日(金)

216日(土日祝日は休講) 1,299時間

③ 定員

12名

④ 研修時間

午前 9:00～12:00 3時間

午後 13:00～16:00 3時間

⑤ 講師

1) 内部講師

公益財団法人森林ネットおおいた

2) 外部講師

大分県、九州森林管理局、林業事業体、指導林家等

⑥ 研修場所

1) 大分県林業研修所内 おおいた林業アカデミー研修室 等

2) 実習現場

国・県・市町村有林、私有林、木材市場、木材加工施設 等

⑦ 習得できる資格

1) 技能講習

- ・車両系建設機械運転技能講習
- ・玉掛け技能講習
- ・小型移動式クレーン運転技能講習

2) 特別教育

- ・伐木等の業務に係る特別教育
- ・伐木等機械の運転の業務に係る特別教育
- ・走行集材機械運転の業務に係る特別教育
- ・簡易架線集材装置の運転業務特別教育

3) 安全衛生教育

- ・刈払機取扱作業安全衛生教育

4) その他

- ・救急救命講習
- ・狩猟免許（わな猟）
- ・林業技能検定 3 級

Ⅱ 研修科目と研修時間

テーマ	頁	科 目	内 容	R8 研修時間		前期計画	後期計画
				講義	実習	4月～9月	10月～3月
Ⅰ	基礎	1 開校式 閉校式 オリエンテーション	①開講式	3.0		3.0	
			②閉講式	3.0			3.0
			③オリエンテーション	3.0		3.0	
		2 森林・林業の基礎	①森林・林業の基礎知識	24.0		24.0	
		3 社会人基礎	①マナー、コミュニケーション	12.0		12.0	
		②経理(簿記)・税の基礎知識	9.0			9.0	
		4 確認試験	①確認試験、解説	12.0	3.0	6.0	9.0
			計	69.0		48.0	21.0
Ⅱ	安全衛生	5 林業労働安全	①救急基礎講習		6.0	6.0	
			②蜂アレルギー対策(アレルゲン検査)		3.0	3.0	
			③林業労働安全衛生一般	18.0		15.0	3.0
			④危険予知活動、リスクアセスメント	6.0		6.0	
				計	33.0		30.0
Ⅲ	森林経営	6 林業施策等概論	①林業白書、林業施策、森林環境税	6.0		3.0	3.0
			②大分県の森林の状況、伐採届、森林経営計画	3.0			3.0
			③森林整備の効率化、低コスト化	3.0			3.0
			④保安林と林地開発制度	3.0			3.0
		7 林業への就業	①林業事業者の給与体系、就労条件等の解説、森林の仕事ガイダンス	12.0		6.0	6.0
			②就業者等との意見交換会、就業面談	12.0		12.0	
			③林業事業者の業務内容	9.0		9.0	
		8 森林調査	①森林基本図の見方、測樹(プロット調査)現地実習	6.0	12.0	18.0	
			②森林資源調査実習(GIS、GNSSを活用)	6.0	18.0	12.0	12.0
			③FRDの活用(DEMデータ解析等)	6.0	6.0		12.0
			④密度管理、選木研修		6.0	6.0	
			⑤立木評価	3.0	3.0		6.0
			⑥森林施策プランナー	3.0			3.0
9 森林病害虫・獣害	①基本的な病害虫、獣害対策	3.0	6.0	9.0	0.0		
	②防獣ネット設置実習		6.0		6.0		
	③狩猟免許(ワナ猟)	12.0		12.0			
10 森林施業体系	①人工林施業体系、作業現場視察	3.0	9.0	6.0	6.0		
	②造林関係補助金の概要、造林作業の目的と方法	3.0			3.0		
11 作業道設計	①作業道開設の方法、踏査	6.0	6.0		12.0		
	②作業道作設		12.0		12.0		
		計	183.0		93.0	90.0	
Ⅳ	造林・育林	12 種苗、苗畑管理	①苗畑管理技術		3.0		3.0
			②採穂、挿付け実習		6.0		6.0
		13 造林技術	①森林土壌と適地適木	3.0			3.0
			②地拵え実習、植栽実習		6.0		6.0
			③一貫作業システム等	3.0	12.0	15.0	
			④刈払機の構造と点検整備		9.0	9.0	
			⑤安全な刈払機操作		18.0	18.0	
			⑥安全な下刈り・除伐等		54.0	54.0	
⑦手工具の取扱及び整備実習		3.0	3.0				
		計	117.0		99.0	18.0	

II 研修科目と研修時間

テーマ	頁	科 目	内 容	R8 研修時間		前期計画	後期計画	
				講義	実習	4月～9月	10月～3月	
V	伐木・造材	14	伐採技術	①チェーンソーの構造と点検整備、目立て		48.0	30.0	18.0
				②チェーンソーの安全操作		66.0	54.0	12.0
				③スギ、ヒノキの安全な伐倒・造材	3.0	228.0	90.0	141.0
				④広葉樹、竹材等の安全な伐倒		12.0		12.0
				⑤林内作業車を用いた素材の搬出		18.0	12.0	6.0
				計		375.0	186.0	189.0
VI	木材利用	15	木材の利用	①木材の構造及び性質	3.0	3.0	6.0	
				②木材の流通、加工、用途開発等	3.0	12.0	3.0	12.0
				③住宅展示場、公共木造建築物、バイオマス発電所等視察		12.0	6.0	6.0
				計		33.0	15.0	18.0
VII	技能習得	16	技能習得	①高性能林業機械の安全技術、機械操作実習	3.0	48.0	3.0	48.0
				②効率的な作業システム		6.0		6.0
				③ハーベスタシミュレータ操作実習		9.0	6.0	3.0
				④ファイヤーワーク・ロープワーク実習		12.0	6.0	6.0
				⑤林業技能検定講習		18.0	9.0	9.0
	資格取得	17	資格取得	①刈払機取扱作業安全衛生教育		6.0	6.0	0.0
				②伐木等の業務に係る特別教育	9.0	9.0	18.0	0.0
				③小型移動式クレーン運転技能講習	9.0	9.0	0.0	18.0
				④玉掛け技能講習	9.0	9.0	0.0	18.0
				⑤車両系建設機械運転技能講習	12.0	24.0	36.0	0.0
				⑥走行集材機運転特別教育	6.0	6.0	12.0	0.0
				⑦伐木等機械運転特別教育	6.0	6.0	12.0	0.0
				⑧簡易架線集材装置の運転業務特別教育	6.0	6.0	0.0	12.0
	計		228.0	108.0	120.0			
VIII	里山活用・保全	18	里山の活用	①山歩きの実践		3.0	3.0	0.0
				②樹木の見分け方及び危険な動植物	6.0	6.0	12.0	
		19	特用林産	①乾しいたけ生産の現状、栽培技術等特用林産物	3.0	9.0		12.0
				計		27.0	15.0	12.0
IX	スキルアップ	20	インターンシップ	①各事業体における職場体験、体験報告	15.0	120.0	27.0	126.0
				計		135.0	27.0	108.0
小計					288.0	912.0	621.0	579.0
合計					1200.0		1200.0	

Ⅲ 評価方法と評価基準

① 評価方法

各シラバスにおいて、研修内容の理解度や技能の習得度について、下記の評価項目毎にそれぞれ得点割合に応じて評価し、複数の評価項目を総合的に判断して総合評価とします。

総合評価がD区分の場合は、補講または再テストを行います。なお、正当な理由（病気、怪我、やむを得ない事情等）により講義を受けられない場合は、補講や再テストを受けることができます。

② 評価基準

評価項目	評価基準
1) 出席時間数	科目ごとに規定時間数の出席を確認し評価 90%以上：A 90%未満 80%以上：B 80%以下：D
2) 取組姿勢	適切に受講していないと判断される場合、その講義については 欠席と同等の取り扱いとする 適切に受講：A 受講：B 適切に受講していない：D
3) 筆記試験等	試験の結果を科目ごとに採点し評価 演習成果の提出をもって評価 90%以上：A 90%未満 70%以上：B 70%未満 60%以上：C 60%以下：D
4) 習得度検定	別に定める効果測定の結果をもって評価
5) 資格取得	資格の取得をもって評価

総合判定	A	B	C	D
------	---	---	---	---

※評価項目毎の評価を基に総合的に評価

③ 評価項目一覧

区分	科目	評価項目					備考
		出席	取組姿勢	筆記試験 演習成果	習得度評価	資格取得	
基礎	1.オリエンテーション	○	○				
	2.森林・林業の基礎	○	○	○			
	3.社会人基礎	○	○	○			
	4.確認試験	○	○	○			
安全衛生	5.林業労働安全	○	○	○			
森林経営	6.林業施策等概論	○	○	○			
	7.林業への就業	○	○				
	8.森林調査	○	○	○			
	9.森林病虫害・獣害	○	○	○			
	10.森林施業体系	○	○	○			
	11.作業道設計	○	○	○			
造林・育林	12.種苗、苗畑管理	○	○	○			
	13.造林技術	○	○	○	○		
伐木・造材	14.伐採技術	○	○	○	○		
木材利用	15.木材の利用	○	○	○			
技能習得	16.技能習得	○	○	○			
	17.資格取得	○				○	
里山活用保全	18.里山の活用	○	○	○			
	19.特用林産	○	○	○			
スキルアップ	20.インターンシップ	○	○				

IV 年間研修スケジュール(前期)

4月			5月			6月			7月			8月			9月										
アカデミー			アカデミー			アカデミー			アカデミー			アカデミー			アカデミー										
1	水		1	金	10①作業現場(造林)	事業体	1	月	04確認試験	05③労働安全	先生	1	水	20インターンシップ(下刈)	1	土		1	火	08④密度管理と選木実習	国有林				
2	木		2	土			2	火	05①救急基礎講習		赤十字	2	木	20インターンシップ(下刈)	2	日		2	水	08③森林資源調査(GIS,GPS)	先生				
3	金		3	日	憲法記念日		3	水	06①林業施策	07①就労情報	佐藤朗/渡辺	3	金	20インターン報告	16④ロープワーク	先生	3	月	14①チェンソー構造・点検	松崎	3	木	08③森林資源調査(GIS,GPS)	先生	
4	土		4	月	みどりの日		4	木	13④刈払機構造・点検		桑原	4	土			4	火	14①チェンソー構造・点検	松崎	4	金	14③伐木・造材実習	松崎		
5	日		5	火	こどもの日		5	金	05④危険予知	05③労働安全	先生	5	日			5	水	14②チェンソー安全操作	松崎	5	土				
6	月		6	水	振替休日		6	土			松崎	6	月	6/13振休		6	木	14①チェンソー構造・点検	松崎	6	日				
7	火		7	木	16③シュミレータ16④ロープワー	-	7	日				7	火	14①チェンソー構造・点検	桑原	7	金	14②チェンソー安全操作	松崎	7	月	14③伐木・造材実習	松崎		
8	水		8	金	17①刈払機取扱作業安全衛生	-	8	月	09①獣害対策		県庁	8	水	14①チェンソー構造・点検	松崎	8	土	アカデミーOC	13②チェンソー安全操作	先生	8	火	14③伐木・造材実習	松崎	
9	木		9	土		-	9	火	13⑤刈払機安全操作		松崎	9	木	14②チェンソー安全操作	松崎	9	日			9	水	16⑤林業技能検定講習	13②チェンソー安全操作	先生	
10	金		10	日			10	水	13⑤刈払機安全操作		松崎	10	金	14②チェンソー安全操作	松崎	10	月	8/8振休		10	木	15③木材の利用(県木運ほか)	先生		
11	土		11	月	18①山歩きの実	18②樹木の見分け方	佐藤朗	11	木	05④危険予知	05③労働安全	松崎	11	土			11	火	山の日		11	金	12③佐伯広域(一貫システム)	先生	
12	日		12	火	18②樹木の見分け方		佐藤朗	12	金	13④刈払機構造	16③シュミレータ		12	日			12	水	9/12振休		12	土	アカデミーOC	13②チェンソー安全操作	先生
13	月	01①開講式	01③オリエンテーション	13	水	17②伐木等の業務に係る特別教育		13	土	9③狩猟免許受験講習会(仮)		13	月	17⑦伐木等機械の運転の業務特別教育		13	木	休講		13	日				
14	火	03①社会人マナー	鎌田	14	木	17②伐木等の業務に係る特別教育		14	日			14	火	07②フォローアップ研修	-	14	金			14	月	04確認試験	13②チェンソー安全操作	松崎	
15	水	03①コミュニケーション	鎌田	15	金	17②伐木等の業務に係る特別教育		15	月	13⑤刈払機安全操作	先生	15	水	17⑦伐木等機械の運転の業務特別教育		15	土			15	火	13②チェンソー安全操作	松崎		
16	木	02基礎知識(林業用語)	森迫	16	土			16	火	13⑥下刈実習 1	松崎	16	木	07③林業事業体	07①就業準備	県庁/先生	16	日			16	水	14③伐木・造材実習	松崎	
17	金	02基礎知識(遷移、公益的機能)	森迫	17	日			17	水	13⑥下刈実習 2	松崎	17	金	9③狩猟免許試験(わな)		17	月	17⑥走行集材機械運転特別教育		17	木	14③伐木・造材実習	松崎		
18	土			18	月	08①プロット調査		18	木	13⑥下刈実習 3	松崎	18	土			18	火	14③伐木・造材実習	先生	18	金	16⑤林業技能検定試験			
19	日			19	火	08①プロット調査		19	金	13⑥下刈実習 4	松崎	19	日			19	水	17⑥走行集材機械運転特別教育		19	土				
20	月	02基礎知識(森林の歴史、現状)	森迫	20	水	18①山歩き(由布岳周辺)	先生	20	土			20	月	海の日		20	木	14③伐木・造材実習	松崎	20	日				
21	火	02基礎知識(原木市場、製材流通)	森迫	21	木	17⑤車両系建設機械運転技能講習		21	日			21	火	05③労働安全	県庁	21	金	14③伐木・造材実習	松崎	21	月	敬老の日			
22	水	02基礎知識(遷移、公益的機能)	佐藤朗	22	金	17⑤車両系建設機械運転技能講習	-	22	月	13⑥下刈実習 5	松崎	22	水	9①病害虫	6①林業白書	佐藤朗	22	土			22	火	国民の祝日		
23	木	07②林業事業体説明会		23	土		-	23	火	13⑥下刈実習 6	松崎	23	木	14②チェンソー安全操作	松崎	23	日			23	水	秋分の日			
24	金	18②危険な動植物	05②ハチ毒検査	森迫	24	日		24	水	13⑥下刈実習 7	松崎	24	金	14②チェンソー安全操作	松崎	24	月	14③伐木・造材実習		24	木	14③伐木・造材実習	松崎		
25	土			25	月	17⑤車両系建設機械運転技能講習		25	木	13⑥下刈実習 8	松崎	25	土			25	火	15①木材の構造及び性質	研究部	25	金	7③林業事業体の業務内容説明	事業体		
26	日			26	火	17⑤車両系建設機械運転技能講習	-	26	金	13⑥下刈実習 9	松崎	26	日			26	水	14③伐木・造材実習	松崎	26	土				
27	月	08①基本図見方	先生	27	水	17⑤車両系建設機械運転技能講習	-	27	土			27	月	14②チェンソー安全操作	松崎	27	木	14⑤林内作業車による素材搬出	松崎	27	日				
28	火	16①高性能林業	13③一貫作業システム	松崎	28	木	17⑤車両系建設機械運転技能講習	-	28	日			28	火	14②チェンソー安全操作	松崎	28	金	14⑤林内作業車による素材搬出	松崎	28	月	14③伐木・造材実習	先生	
29	水	昭和の日		29	金	13⑦手工具整備	15②原木市場	調井/伊万里	29	月	20インターンシップ(下刈)		29	水	13⑥下刈実習(竹林見本園)	先生	29	土		-	29	火	14③伐木・造材実習	先生	
30	木	13③一貫作業システム(高性能視察)	事業体	30	土			30	火	20インターンシップ(下刈)		30	木	14②チェンソー安全操作	松崎	30	日			30	水	14③伐木・造材実習	先生		
				31	日							31	金	14②チェンソー安全操作	松崎	31	月	14③伐木・造材実習	先生						

13

18

23

21

17

20

IV 年間研修スケジュール(後期)

10月			11月			12月			1月			2月			3月		
アカデミー			アカデミー			アカデミー			アカデミー			アカデミー			アカデミー		
1	木	16①高性能林業機械操作実習 松崎	1	日		1	火	20インターンシップ	1	金	元日	1	月	15③木材利用(PC・住宅展示場) 先生	1	月	14③伐木・造材実習 先生
2	金	14③伐木・造材実習 桑原	2	月	16①高性能林業機械操作実習 松崎	2	水	20インターンシップ	2	土	休講(年始)	2	火	03②経理(簿記の基礎) 先生	2	火	14③伐木・造材実習 先生
3	土		3	火	文化の日	3	木	20インターンシップ	3	日	休講(年始)	3	水	14③伐木・造材実習 先生	3	水	14③伐木・造材実習 先生
4	日		4	水	8③FRDの活用(DEM解析等)	4	金	20インターン報告 05③労働安全 県庁	4	月	12/12振休	4	木	14③伐木・造材実習 先生	4	木	14⑤林内作業車による素材搬出 佐藤康
5	月	15②原木市場等視察(西部) 先生	5	木	8③FRDの活用(DEM解析等)	5	土		5	火	17③小型移動式クレーン運転技能講習 -	5	金	08⑥プランナー 03②税の基礎 先生	5	金	14③伐木・造材実習 佐藤康
6	火	14③伐木・造材実習 松崎	6	金	14③伐木・造材実習 松崎	6	日		6	水	17③小型移動式クレーン運転技能講習 -	6	土		6	土	
7	水	14③伐木・造材実習 松崎	7	土		7	月	11②作業道作設 松崎	7	木	14③伐木・造材実習 先生	7	日		7	日	
8	木	16③シュミレーター 14①チェンソー構造・点検 先生	8	日		8	火	11②作業道作設 松崎	8	金	17③小型移動式クレーン運転技能講習 -	8	月	14③伐木・造材実習 先生	8	月	16①高性能林業機械操作実習 松崎
9	金	14③伐木・造材実習 松崎	9	月	20インターンシップ	9	水	14③伐木・造材実習 松崎	9	土		9	火	14③伐木・造材実習 松崎	9	火	16①高性能林業機械操作実習 松崎
10	土		10	火	20インターンシップ	10	木	14③伐木・造材実習 松崎	10	日		10	水	16①高性能林業機械操作実習 松崎	10	水	14③伐木・造材実習 松崎
11	日		11	水	20インターンシップ	11	金	14③伐木・造材実習 先生	11	月	成人の日	11	木	建国記念の日	11	木	14①チェンソー構造・点検 松崎
12	月	スポーツの日	12	木	20インターンシップ	12	土	07①就業ガイダンス(大分)	12	火	16①高性能林業機械操作実習 松崎	12	金	14③伐木・造材実習 先生	12	金	おいた林業アカデミー閉講式
13	火	20インターンシップ	13	金	20インターンシップ	13	日		13	水	16①高性能林業機械操作実習 松崎	13	土		13	土	
14	水	20インターンシップ	14	土		14	月	20インターンシップ	14	木	14④伐木・造材実習(サクラ) 松崎	14	日		14	日	
15	木	20インターンシップ	15	日		15	火	20インターンシップ	15	金	14④伐木・造材実習(サクラ) 松崎	15	月	16①高性能林業機械操作実習 松崎	15	月	
16	金	20インターンシップ	16	月	20インターン報告 06②森林の現状 県庁	16	水	20インターンシップ	16	土		16	火	19①クヌギ玉切・駒打ち 先生	16	火	
17	土		17	火	12③地拵え実習 先生	17	木	20インターン報告 06①森林環境税 県庁	17	日		17	水	13②植栽実習 先生	17	水	
18	日		18	水	09①獣害対策 12①苗畑管理 先生	18	金	14①チェンソー構造・点検 松崎	18	月	16④ワイヤー加工 藤井/佐藤	18	木	13②植栽実習 先生	18	木	
19	月	20インターン報告 12①森林土壌 佐藤朗	19	木	09②シカネット設置 先生	19	土		19	火	17④玉掛資格 -	19	金	16⑤林業技能検定講習 先生	19	金	
20	火	10①作業現場視察(北部・東部) 先生	20	金	12②採穂・挿付け実習 事業体	20	日		20	水	17④玉掛資格 -	20	土		20	土	
21	水	14①チェンソー構造・点検 松崎	21	土		21	月	14③伐木・造材実習 松崎	21	木	14③伐木・造材実習 先生	21	日		21	日	
22	木	14③伐木・造材実習 松崎	22	日		22	火	17⑧簡易架線集材装置の運転講習 -	22	金	17④玉掛資格 -	22	月	休講	22	月	春分の日
23	金	14③伐木・造材実習 松崎	23	月	勤労感謝の日	23	水	04確認試験 16⑤林業技能検定 松崎	23	土	14②チェンソー安全操作 -	23	火	天皇誕生日	23	火	
24	土		24	火	07①就業準備 07②面談 先生	24	木	17⑧簡易架線集材装置の運転講習 -	24	日	14②チェンソー安全操作 -	24	水	14③伐木・造材実習 先生	24	水	
25	日		25	水	13④広葉樹伐採(クヌギ)竹田 松崎	25	金	14③伐木・造材実習 松崎	25	月	休講	25	木	14③伐木・造材実習 先生	25	木	
26	月	16②効率的な作業システム 松崎	26	木	19①乾しいたけ栽培技術 県庁	26	土		26	火	休講	26	金	04確認試験・解説 先生	26	金	
27	火	11①作業道開設の方法 首藤	27	金	06①森林環境課与税 06③林内路網 県庁	27	日		27	水	15②木材の流通・用途開発 県庁	27	土		27	土	
28	水	11①作業道開設の方法 首藤	28	土		28	月		28	木	10②造林補助制 06④保安林 県庁	28	日		28	日	
29	木	08②森林資源調査(GIS,GPS) 渡邊	29	日		29	火	休講(年末)	29	金	08⑤立木評価 県庁				29	月	
30	金	08②森林資源調査(GIS,GPS) 渡邊	30	月	20インターンシップ	30	水	休講(年末)	30	土					30	火	
31	土					31	木	休講(年末)	31	日					31	水	

21

19

20

18

17

10

シラバス



テーマ	科目			
I 基礎	1. 開講式・閉講式 オリエンテーション			
講師				
おおいた林業アカデミー講師 等				
背景と目的	おおいた林業アカデミーで1年間学び、林業の担い手としての自覚を促す。			
内容	開講式、閉講式に参加し、研修生としての心構えを学ぶ。 オリエンテーションで、おおいた林業アカデミーの規則や研修の進め方を理解する。			
習得度等の到達目標	おおいた林業アカデミーの規則や研修の進め方を理解する。			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①開講式	開講式に参加し、研修生としての心構えを促す。	3	0	3
②閉講式	閉講式に参加し、研修修了生としての責務を考える。	3	0	3
③オリエンテーション	おおいた林業アカデミーの概要について説明を受け、内容を把握する。	3	0	3
計		9	0	9
習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			
取得できる資格	なし			

V シラバス



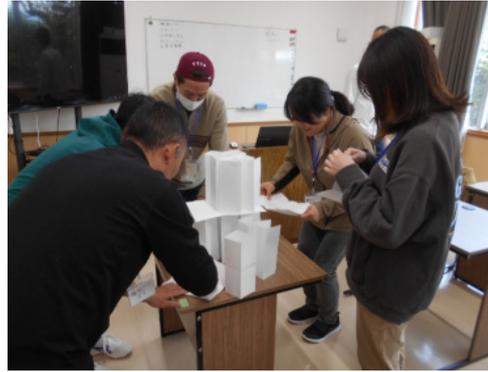
テーマ	科目
I 基礎	2. 森林・林業の基礎
講師	
おおいた林業アカデミー講師 等	

背景と目的	林業就業に必要な基礎知識や林業用語等を理解する。
内容	森林の成り立ちや林業の歴史、作業内容等に関する基礎知識を学ぶ。
習得度等の到達目標	森林・林業の基礎知識や林業の作業内容、用語等を理解する。

講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①森林・林業の基礎知識	森林・林業の基礎知識や林業の作業内容、用語を学習する。 ①林業用語・森林の現状や林業史 ②植林から収穫までの林業サイクル ③木材の利用や流通 ④森林の持つ公益的機能、植生遷移等	24	0	24

習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による
取得できる資格	なし

Ⅴ シラバス



テーマ	科目
Ⅰ 基礎	3. 社会人基礎
講師	
おおいた林業アカデミー講師 等	

背景と目的	社会人として必要なマナーや税の基礎知識等を身に付ける。
-------	-----------------------------

内容	社会人として求められるマナーやコミュニケーションを学ぶ。 また、会社の運営に必要な経理に関する知識や確定申告等に必要な税金の仕組みについて学ぶ。
----	---

習得度等の到達目標	社会人として必要なマナーやコミュニケーション能力を向上させる。 簿記の基礎及び確定申告の手法を理解する。
-----------	---

講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①マナー コミュニケーション	マナーやコミュニケーション能力を学ぶ。	12	0	12
②経理(簿記)・税の基礎知識	簿記の基礎知識や確定申告方法を学ぶ。	9	0	9
計		21	0	21

習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による
--------------	----------------

取得できる資格	なし
---------	----

シラバス



テーマ	科目
Ⅰ 基礎	4. 確認テスト
講師	
おおいた林業アカデミー講師 等	

背景と目的	習得度を評価する。			
内容	研修内容に関する習得度を確認するための中テストを実施する。			
習得度等の到達目標	各科目における基準のとおりとする。			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①確認試験・解説	研修内容に関する習得度確認試験を実施する。 試験の答合わせ及び解説を行い、習得度の確認・向上を図る。	12	3	15
計		12	3	15
習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			
取得できる資格	なし			

シラバス



テーマ	科目
Ⅱ 安全衛生	5. 林業労働安全
講師	
日本赤十字社大分県支部、外部講師、大分県	

背景と目的	林業は労働災害が発生した場合、重大な事故になることが多い。 林業労働災害に関する知識を学び、労働災害の未然防止や発生した場合の応急処置を習得する。
-------	--

内容	林業労働災害の現状や法的責任、安全対策、危険予知に関する知識・技能を学ぶ。 また、救急基礎講習の受講により事故発生時の適切な対処法等を身につける。
----	--

習得度等の到達目標	林業労働災害の現状や法的責任を理解する。 危険予知活動等による事故防止方法及び応急処置を習得する。
-----------	--

講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①救急基礎講習	事故発生時の対応及び応急処置方法を学ぶ。	0	6	6
②蜂アレルギー対策 (アレルギー検査)	蜂アレルギー検査を受診し、アレルギーの有無を確認する。	0	3	3
③林業労働安全衛生一般	林業労働災害の現状や労働災害発生時の法的責任を学ぶとともに、VRを活用した疑似体験や、安全対策の先進事例等に関する研修を通じて労働安全対策の必要性を認識する。	18	0	18
④危険予知活動 リスクアセスメント	危険予知やリスクアセスメントを具体的事例で学ぶ。	6	0	6
計		24	9	33

習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による
--------------	----------------

取得できる資格	なし
---------	----

シラバス



テーマ	科目			
Ⅲ 森林経営	6. 林業施策等概論			
講師				
おおいた林業アカデミー講師、大分県				
背景と目的	林業の振興に向け、国、県、市町村は様々な施策を講じている。それらの施策を学ぶとともに、森林・林業に関する規則や制度を学ぶことにより、林業振興の全体のイメージを把握する。			
内容	林業白書や次世代の大分森林づくりビジョン等を参考に林業振興のための施策等を学ぶとともに、森林施業を行うにあたって知っておくべき森林計画制度や保安林制度、森林環境税の活用等を学ぶ。			
習得度等の到達目標	林業に従事するにあたり必要となる施策や制度等を理解する。			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①林業白書 林業施策 森林環境税	林業白書を用いて林業の施策を学ぶ。 森林環境税の活用について学ぶ。	6	0	6
②大分県の森林の状況 伐採届 森林経営計画	大分県の森林・林業の状況や森林計画制度について学ぶ。	3	0	3
③森林整備の効率化 低コスト化	森林施業を効率的に行うポイントを学ぶ。	3	0	3
④保安林と林地開発制度	保安林と林地開発制度について学ぶ。	3	0	3
計		15	0	15
習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			
取得できる資格	なし			

シラバス



テーマ	科目			
Ⅲ 森林経営	7. 林業への就業			
講師				
おおいた林業アカデミー講師、外部講師、大分県等				
背景と目的	林業分野の就業先を選定するにあたり、勤務労働条件や従事者の現状を把握する必要がある。 林業事業体の就労条件等の情報を収集し、就業先を決定する。			
内容	林業事業体の業務内容や勤務労働条件等を学ぶとともに、就業ガイダンスや林業従事者との意見交換等により林業事業体への就労についての理解を深める。			
習得度等の到達目標	林業事業体の現状を理解し、就業希望先を決定する。			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①林業事業体の給与体系 就労条件等の解説 森林の仕事ガイダンス	林業従事者の現状や林業事業体の就労条件について学ぶ。 就業ガイダンス等に参加し、林業事業体の情報を収集する。	12	0	12
②就業者等との意見交換会 就業面談	アカデミー修了生等林業従事者との意見交換により、林業事業体毎の勤務労働条件等就業先の決定に必要な情報を収集する。 アカデミー講師との個別面談により、就業を希望する林業事業体を決定する。	12	0	12
③林業事業体の業務内容	林業事業体の仕事内容について学ぶ。	9	0	9
計		33	0	33
習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			
取得できる資格	なし			

シラバス



テーマ	科目			
Ⅲ 森林経営	8. 森林調査			
講師				
おおいた林業アカデミー講師、外部講師、大分県等				
背景と目的	森林施業に必要な資源情報を把握するための調査手法を習得する。			
内容	森林基本図の見方や測量・測樹の基本的知識、適切な密度管理、選木方法を学ぶ。 また、ドローン等を活用した効率的な森林資源調査について学ぶとともに、資源情報を利用して森林施業を提案する「森林施業プランナー」の役割や業務内容を学ぶ。			
習得度等の到達目標	森林基本図の見方や測量・測樹の知識、密度管理、選木方法を習得する。 ドローン等をも用いた効率的な森林資源情報の取得、活用方法を習得する。 また、森林施業プランナーの業務について理解する。			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①森林基本図の見方 測樹(プロット調査)実習	森林基本図の見方及び測樹に関する技術を学ぶ。	6	12	18
②森林資源調査実習	GIS、GNSS、ドローン等の最新技術を活用した調査の基礎的知識や情報解析の手法を学ぶ。	6	18	24
③FRDの活用(DEMデータ解析等)	三次元データを解析し、FRD(路網設計支援ソフト)を用いて、作業道の設計と現地確認を行う。	6	6	12
④密度管理 選木実習	密度管理の考え方を学ぶとともに、選木の方法を学ぶ。	0	6	6
⑤立木評価	立木の購入や販売の価格決定に必要な立木の評価技術(林価算法)を学ぶ。	3	3	6
⑥森林施業プランナー	森林施業を提案するための森林施業プランナーの業務や技術、手法を学ぶ。	3	0	3
計		24	45	69
習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			
取得できる資格	なし			

シラバス



テーマ	科目			
Ⅲ 森林経営	9. 森林病虫害・獣害			
講師				
おおいた林業アカデミー講師、外部講師、大分県等				
背景と目的	病虫害の被害により、林木の成長阻害や品質低下が生じることがある。 また、近年は、シカやイノシシ等による林木への被害が多発している。これら病虫害獣による被害の状況や原因、その防除方法について理解する。			
内容	基本的な病虫害獣の実態や被害状況、防除方法等を学ぶ。 また、近年被害が著しいシカ被害の防除に有効なシカネットの設置方法を実習する。			
習得度等の到達目標	基本的な病虫害獣の実態等について理解する。 シカネットの意義を理解し、その設置方法を習得する。			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①基本的な病虫害獣対策	病虫害や獣害に関する基礎知識を学ぶ。 また、捕獲された害獣について利活用を学ぶ。	3	6	9
②防獣ネット設置実習	シカネットの設置方法を学ぶ。	0	6	6
③狩猟免許(ワナ猟)	ワナ猟に関する知識や猟具の取扱方法を習得する。	12	0	12
計		15	12	27
習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			
取得できる資格	狩猟免許(ワナ猟)			

シラバス



テーマ	科目			
Ⅲ 森林経営	10. 森林施業体系			
講師				
おおいた林業アカデミー講師、外部講師、大分県等				
背景と目的	森林整備を進めるにあたり効率的な施業を実施するために、循環型の人工林施業体系を理解する。 併せて、生物多様性等環境に配慮した森林施業を知ること、林業の重要性への理解を深める。 また、森林施業に不可欠な、造林補助金の概要を知る。			
内容	人工林施業体系を学び、作業現場で確認する。 造林補助金制度を学ぶ。			
習得度等の到達目標	循環型の人工林施業体系を理解する。 生物多様性等環境に配慮した森林施業を理解する。 造林補助金制度の概要を理解する。			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①人工林施業体系 作業現場視察	循環型の人工林施業を中心に、多様な施業体系を学ぶ。	3	9	12
②造林関係補助金の概要 造林作業の目的と方法	造林補助金の概要、造林作業の目的と方法を学ぶ。	3	0	3
計		6	9	15
習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			
取得できる資格	なし			

シラバス



テーマ	科目			
Ⅲ 森林経営	11. 作業道設計			
講師				
おおいた林業アカデミー講師、外部講師 等				
背景と目的	効率的かつ低コストでの木材生産には、作業道等の路網整備が重要である。また、近年は、壊れない作業道の作設が求められている。作業道開設の意義や手法等について理解し、効率的な木材生産に繋げる。			
内容	作業道開設のための、踏査、測量、設計、作設を学ぶ。併せて、最新の路網設計支援ソフト(8. 森林調査)と比較し違いを学ぶ。			
習得度等の到達目標	効率的かつ壊れない作業道の設計・作設方法を理解する。			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①作業道開設の方法、踏査	作業道の踏査(土質、傾斜、排水等の確認)、測量、設計を学ぶ。路網設計支援ソフトとの違いを比較する。	6	6	12
②作業道の作設	小型バックホウ等を使用し、効率的かつ壊れない作業道の作設方法を学ぶ。	0	12	12
計		6	18	24
習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			
取得できる資格	なし			

シラバス



テーマ	科目			
IV 造林・育林	12. 種苗、苗畑管理			
講師				
おおいた林業アカデミー講師、外部講師 等				
背景と目的	戦後造林された人工林の多くが伐期を迎え主伐面積が増加したことに伴い、再造林面積も増大している。 再造林に必要な山林種苗生産の現状や管理方法について理解する。			
内 容	苗畑の視察や採穂、挿付け実習を通じて、山林種苗生産の現状や技術を学ぶ。			
習得度等の到達目標	山林種苗の生産技術を理解する。			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
① 苗畑管理技術	苗畑での種苗の管理技術を学ぶ。	0	3	3
② 採穂、挿付け実習	採穂、挿付け等種苗生産の実習を行う。	0	6	6
計		0	9	9
習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			
取得できる資格	なし			

シラバス

テーマ	科目			
IV 造林・育林	13. 造林技術			
講師				
おおいた林業アカデミー講師、外部講師 等				
背景と目的	造林作業員の減少が進み、造林作業の効率化及び安全対策の徹底が課題となっている。 造林作業の基礎知識や効率的な造林技術を学ぶとともに、安全な造林作業技術を習得する。			
内容	コンテナ苗や低密度植栽、一貫作業システム等の効率的な造林技術を学ぶとともに、安全な造林作業や刈払機の取り扱い等を実習する。			
習得度等の到達目標	効率的な造林技術を理解する。 安全な造林作業と刈払機の基本操作および管理方法を習得する。			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①森林土壌と適地適木	森林土壌と適地適木について学ぶ。	3	0	3
②地拵え実習 植栽実習	効率的な地拵えや、安全な植栽作業の技術を習得する。	0	6	6
③一貫作業システム等	一貫作業システム等効率的な造林技術について学ぶ。	3	12	15
④刈払機の構造と点検整備	刈払機の構造と点検整備の手法を学ぶ。	0	9	9
⑤安全な刈払機操作	刈払機の基本かつ安全な操作方法を、実習により習得する。	0	18	18
⑥安全な下刈り・除伐等	安全な下刈り・除伐の技術を習得する。	0	54	54
⑦手工具の取扱及び整備実習	手工具の取扱及び整備の技術を学ぶ。	0	3	3
計		6	102	108
習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			
取得できる資格	なし			

シラバス



テーマ	科目	時間(h)		
V 伐木・造材	14. 伐採技術	座学	実習	計
講師				
おおいた林業アカデミー講師、外部講師 等				
背景と目的	<p>立木の伐採にあたっては主にチェーンソーが使用される。安全性、生産性を向上するには、チェーンソーの構造を理解し、その安全な操作を習得する必要がある。</p> <p>チェーンソーの取扱いに関する基礎技術や正しい伐倒技術等を理解・習得する。</p>			
内容	<p>チェーンソーの構造や点検整備方法やチェーンソーを用いた伐倒・造材、林内作業車を用いた搬出等を実習する。</p> <p>また、繰り返し実習することで安全なチェーンソーの操作を学ぶ。</p>			
習得度等の到達目標	<p>チェーンソーの点検整備技術を習得する。</p> <p>安全な伐倒が行える技術を習得する。</p>			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①チェーンソーの構造と点検整備目立て	チェーンソーの構造と点検整備方法(目立て等)を学ぶ。	0	48	48
②チェーンソーの安全操作	伐倒訓練機等を活用し安全なチェーンソーの操作を実習で学ぶ。	0	66	66
③スギ、ヒノキの安全な伐倒・造材	スギ、ヒノキの安全な伐倒、造材方法を学ぶ。 また、アイカメラ等を用い熟練者の技術を学ぶ。	3	228	231
④広葉樹、竹材等の安全な伐倒	広葉樹や竹材の安全な伐倒方法を学ぶ。	0	12	12
⑤林内作業車を用いた素材の搬出	伐木研修を行った現地で、林内作業車を用いた集材・搬出技術を学ぶ。	0	18	18
計		3	372	375
習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			
取得できる資格	なし			

シラバス



テーマ	科目
VI 木材利用	15. 木材の利用
講師	
おおいた林業アカデミー講師、外部講師、大分県等	

背景と目的	<p>素材生産活動にあたっては、生産される木材の用途、需要、価格等を意識して行うことが重要である。</p> <p>市場、製材所、住宅メーカー等の状況や意見等を知ることで、マーケットインの発想による林業経営に繋げる。</p>			
内容	<p>木材の特性(構造や性質)や製材加工について学ぶ。</p> <p>原木から製材品に至る木材の流通を学ぶ。</p> <p>住宅メーカー等を訪問し、川下の要望、需要について学ぶ。</p>			
習得度等の到達目標	<p>木材の構造や特性を理解する。</p> <p>木材の加工、流通(原木、製品)を理解する。</p> <p>製材品としての木材の利用を理解する。</p>			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①木材の構造及び性質	木材の構造や性質を学ぶ。	3	3	6
②木材の流通、加工、用途開発等市場、製材所視察	木材の流通や加工(採材、製材規格等)、新しい利用方法を学ぶ。	3	12	15
③住宅展示場、公共木造建築物バイオマス発電所視察	住宅展示場や公共木造施設、バイオマス発電所等で木材の活用状況を学ぶ。	0	12	12
計		6	27	33
習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			
取得できる資格	なし			

シラバス



テーマ	科目	時間(h)		
VII 技能習得	16. 技能習得			
講師				
おおいた林業アカデミー講師、外部講師 等				
背景と目的	<p>素材生産現場では高性能林業機械の普及が著しいため、その安全な操作技術や効率的な作業システムについて、理解を深める。 また、素材生産現場で必要とされるワイヤー差しやロープワークの技術を身につける。</p>			
内容	<p>ハーベスタを中心とした高性能林業機械の管理や操作、作業システムについて、基礎的知識及び安全技術を学ぶ。 ワイヤー差し及びロープワークを実習する。</p>			
習得度等の到達目標	<p>高性能林業機械の管理技術及び安全な操作技術、効率的な作業システムの知識を習得する。 ワイヤー差しとロープワークを習得する。</p>			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①高性能林業機械の安全技術 機械操作実習	ハーベスタを中心とした高性能林業機械の操作及び機能・構造、点検・整備、作業システムについて基礎的知識及び安全技術を学ぶ。	3	48	51
②効率的な作業システム	高性能林業機械による作業システムが稼働する現地を視察し、作業道開設や山土場選別等を活用した効率的な素材生産に関する知識を身につける。	0	6	6
③ハーベスタシミュレータ操作実習	ハーベスタシミュレータを用いてハーベスタの操作を体験する。	0	9	9
④ワイヤーワーク・ロープワーク実習	ワイヤーワークとロープワークを実習で学ぶ。	0	12	12
⑤林業技能検定講習	林業技能検定(国家資格)の受験に必要な知識を身につける。	0	18	18
計		3	93	96
習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			
取得できる資格	林業技能検定3級			

シラバス



テーマ	科目			
Ⅶ 技能習得	17. 資格取得			
講師				
おおいた林業アカデミー講師、外部講師 等				
背景と目的	林業に従事するにあたって必要な、刈払機やチェーンソー、基本的な機械運転等の資格を取得する。			
内容	各資格カリキュラムの講習を受講する。			
習得度等の到達目標	各資格を取得する。			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①刈払機取扱作業安全衛生教育	刈払機に関する知識や操作技術を習得する。	0	6	6
②伐木等の業務に係る特別教育	伐木作業、チェーンソーに関する知識や関係法令等を習得する。	9	9	18
③小型移動式クレーン運転技能講習	小型移動式クレーンの知識や運転技術を習得する。	9	9	18
④玉掛け技能講習	玉掛方法の技能を習得する。	9	9	18
⑤車両系建設機械運転技能講習	車両系建設機械に関する知識や走行技術等を習得する。	12	24	36
⑥走行集材機械運転特別教育	走行集材機械に関する知識や走行技術等を習得する。	6	6	12
⑦伐木等機械運転特別教育	伐木等機械に関する知識や走行技術等を習得する。	6	6	12
⑧簡易架線集材装置の運転業務特別教育	簡易架線集材装置の運転に関する知識や技術等を習得する。	6	6	12
計		57	75	132
習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			

シラバス



テーマ	科目			
Ⅷ 里山活用・保全	18. 里山の活用			
講師				
おおいた林業アカデミー講師、外部講師 等				
背景と目的	林業に従事するにあたり、里山等を活用する知識を持つことは重要である。 里山に生育する樹木や危険な動植物に関する知識を得る。			
内 容	里山の成り立ちや植生、その利活用や危険な動植物の見分けかたを学ぶ。			
習得度等の到達目標	樹木の判別、その利活用方法、危険な動植物の見分け方等の知識を習得する。			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①山歩きの実践	地形図を見ながら、山歩きを行い、地域の植生や動植物の観察方法を学ぶ。	0	3	3
②樹木の見分け方及び危険な動植物	樹木や危険な動植物の見分け方について学ぶ。	6	6	12
計		6	9	15
習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			
取得できる資格	なし			

シラバス



テーマ	科目			
Ⅷ 里山活用・保全	19. 特用林産			
講師				
おおいた林業アカデミー講師、外部講師 等				
背景と目的	林業と特用林産物は、強い関わりがある。 大分県が生産量全国一の乾しいたけをはじめ、様々な特用林産物の利活用等について知識を得る。			
内 容	乾しいたけ生産の現状を学ぶとともに、栽培実習をする。			
習得度等の到達目標	大分県の乾しいたけ生産の現状及び生産技術を理解する。			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①乾しいたけ生産の現状 栽培技術等特用林産物	乾しいたけ生産の現状を学ぶ。 一連の生産技術を習得。 特用林産物について学ぶ	3	9	12
計		3	9	12
習得度の評価の基準と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			
取得できる資格	なし			

シラバス



テーマ	科目			
Ⅸ スキルアップ	20. インターンシップ			
講師				
森林組合、林業事業体 等				
背景と目的	林業事業体の労働環境や仕事内容を実際に体験することで、林業就業の指針とする。			
内 容	林業事業体で実際の仕事を体験する。			
習得度等の到達目標	林業事業体の実際の仕事を理解する。			
講義	(内容)	時間(h)		
		座学	実習	計
①各事業体における職場体験 体験報告	各事業体での仕事の体験学習。 インターン終了後、体験報告を行い 研修生間で事業体情報を共有する。	15	120	135
計		15	120	135
習得度の 評価の基準 と方法	Ⅲ 評価方法と評価基準による			
取得できる資格	なし			